

< その他、取組に特徴のある事例 >

地域ぐるみで取り組む深山の里づくり

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	山形県 <small>にしおきたまぐんしらたがまち</small> 西置賜郡白鷹町 <small>みやま</small> 深山			
協定面積 52.9 ha	田 (100%) 水稲	畑	草地	採草放牧地
交付金額 645 万円	個人配分			0 %
	共同取組活動 (100%)	担当者の活動に対する経費		11 %
		体制整備に向けた活動に対する経費		34 %
		農道・水路等の維持管理に関する経費		30 %
		農地維持管理に関する活動経費		13 %
		その他		12 %
協定参加者	農業者 62人、受託組織、水利組合、非農業者 3人			

2. 取組に至る経緯

当集落内では耕作放棄地は発生していないが、今後耕作が困難な農業者が発生する場合も想定されており、機械の共同化や農地集積を進めることで耕作放棄地の予防や作業の効率化などが図れるように取り組んでいくこととした。

3. 取組の内容

当集落では、認定農業者の育成を行いながら、農業や集落の活性化に向けた活動を様々な機会を設けて実践していくこととした。特に、地域の活動母体である「いきいき深山郷」に取り組む若い力を十分に活かし、体験農業などの取組を実践の中に取り入れながら、豊かな里山づくりに取り組んでいる。

また、農道や水路は未整備箇所が多いため、持続性のある農業生産ができるように、集落の景観を守りながら安全で働きやすく、かつ管理しやすい側溝を入れ、砂利敷きなど行い、将来の担い手育成を目指すとともに、集落内の農業者に対し農地の利用権の設定や農作業の委託を推進しており、集落営農の体制づくりを行っている。

また、花壇の植栽整備や道路の案内看板などにも地域をあげて取り組んでいる。深山和紙などの文化も残っており、毎年秋には工芸体験まつりを「いきいき深山郷」が主体となって開催し、集落の活性化につなげている。



維持・補修の必要な水路の下見調査



稲刈り体験ツアーの開催

[集落の将来像]

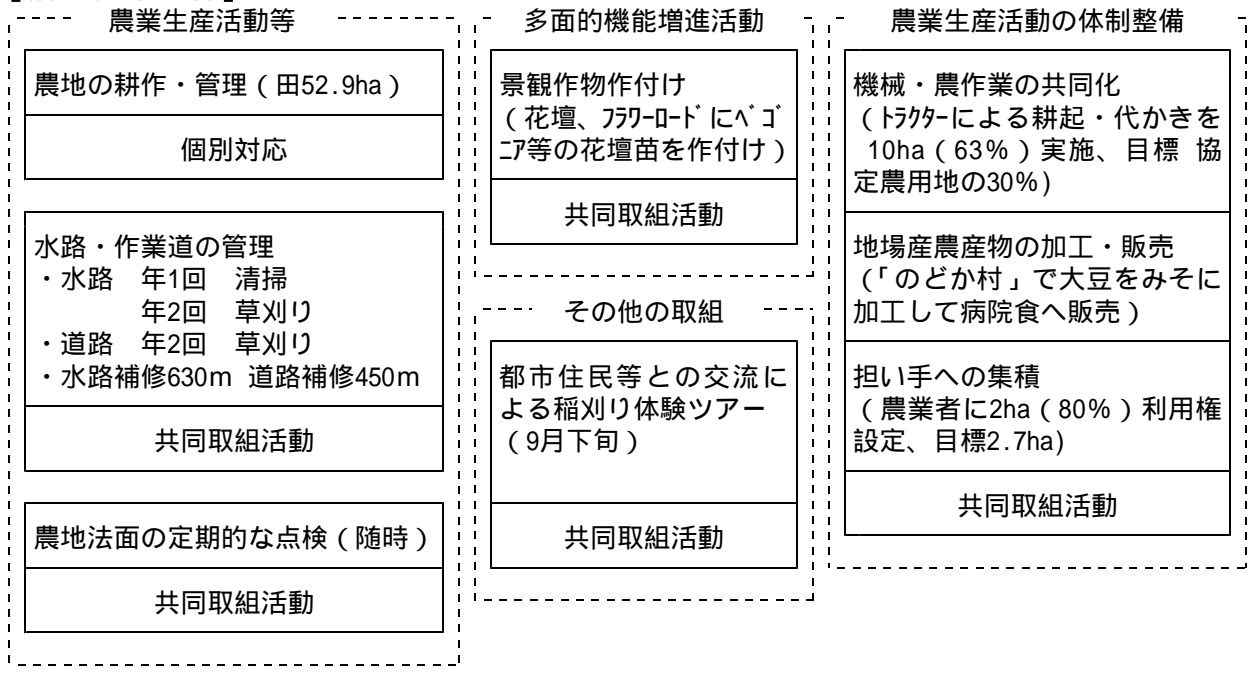
持続性のある農業生産を目指し、集落の農業形態や環境保全活動などの体制整備を図る。



[将来像を実現するための活動目標]

集落の景観を守りながら、農地整備活動の実施
認定農家を中心とした農業生産活動等の継続

[活 動 内 容]



集落外との連携

黒鴨地域の農業者と集落をまたいでいる水路について、共同での修繕等を行っている。

4 . 取組による変化と今後の課題等

「いきいき深山郷」を中心に、地域全体で様々な活動に行われ、活性化が図られてきている。今後も、農業のみの活性化にとらわれず、他産業と連携しながら地域全体での活性化を図っていくこととしている。

[平成20年度までの主な成果]

トラクターの共同利用による耕起・代かき作業の効率化(当初0ha、目標10ha、H20実績10ha)
担い手への農地集積による集落営農の体制強化(当初0ha、目標2.7ha、H20実績2.8ha)
農作業受委託による作業の効率化及び農地の荒廃防止(当初0ha、目標5.4ha、H20実績3.0ha)
都市住民等との交流による集落の活性化
稲刈り体験ツアー(20年度は13名参加)などによる機会を増加させ、工芸体験まつりと連動した取組へとレベルアップを図ってきている。